

CONTENTS

- 1面: パズル道場 山下善徳先生に eisu 高校部 伊藤奈緒がきく。
- 2面: 第1回 eisu OB-OGI にきく!
eisu 高校部 長岡恭史先生との第2回東大特別公開授業のご案内
「全国統一高校生テスト」実施レポート/進学説明会受付中
- 3面: 2010公開模擬試験のご案内/成績優秀者一覧
平成23年度私立中学/高校入試プレのご案内
- 4面: 10月生受付中/eisu 本誌 10月・11月イベントのご案内



伊藤 たしかにそう思います。実際今年、東大の理科Ⅲ類(医学部)に現役合格した生徒さんも、小5から8年間 eisu に通っていたので

伊藤 eisu は今年、「東大・京大合格プロジェクト」を立ち上げました。三重県の東大・京大の合格者の半数を eisu から輩出しようという試みなんです。やはり志つて大切ですよ。一番難しいことに挑戦してやろうとか、もつと自分の可能性を試してみようとか。そうした意識の部分から、三重県の受験環境を変えていきたいと思っています。

山下 そうですね。東京ではもう小学生の段階から「東大へ行きたい！」って普通に口にしてますから、そこは三重県と大きく違うと思います。こちらにも有名な中学・高校がいくつもありますが、そこに入れたというだけで満足してる人が多いんじゃないか? という気がします。東大の場合にはもう露骨で(笑)、入学時から次の目標がはっきりしています。小学生くらいから意識を変えられると、大学の受験対策はかなり楽になると思います。



山下善徳先生

28年前、東京中野区の学習塾に入社。御三家とよばれる「開成中学」・「麻布中学」・「武蔵中学」や「灘中学」などの有名私立中学への合格者を多数輩出。平成12年、「Eプランニング/パズル教育研究会」を設立。長年の自らのテーマであった「学習におけるセンス育成」を実現するプログラム「パズル道場」および「算数MAX」を完成。関東地区・関西地区の高地において、各私立中学より依頼を受け、実際の私立中学入試問題を長年作成。学校関係者以外の外部の人間が、入試問題を作成すること自体が異例中の異例。現在、eisu group 顧問にも就任し、本年4回にわたる「算数MAX特別授業&公開父母セミナーin湯の山」を実施中。教育界の革命児として日本全国を舞台に活躍。

伊藤 山下先生が、センスと呼んでいらっしゃるものですね。

山下 はい。それは「パズル道場」のコンセプトでもあるんですが、イメージ化能力と仮説思考力のことです。イメージ化能力というのは、頭の中だけで解く力、もちろん、最初はノートなどに書いてもいいんですが、最終的には書かずに頭の中だけで解決します。仮説思考力は、すべて自分の作戦で問題を解く力。ヒントも一切与えずに、難しい問題に挑戦させます。ちょっと

伊藤 そうなんです。東大・京大と言っていますが、目指しているのは高い目標を掲げて頑張る子どもたちを増やすこと。夢を実現するために「頑張るって素晴らしいんだ」という気持ちをもつと多くの生徒さんや保護者の方々に持っていたらと願っています。

山下 そうした意識の高い生徒さんに対して、教育のプロが中学・高校の6年間のしっかりした東大受験プログラムを組んで指導すれば、間違いなく合格しますよ。ただそのためには、小学生の段階で「見えない学力」を身に付けたいですね。

伊藤 そうなんです。東大・京大と言っていますが、目指しているのは高い目標を掲げて頑張る子どもたちを増やすこと。夢を実現するために「頑張るって素晴らしいんだ」という気持ちをもつと多くの生徒さんや保護者の方々に持っていたらと願っています。

山下 そういふ生徒さんがいると、全体の底上げにもつながりますよ。

伊藤 そうなんです。東大・京大と言っていますが、目指しているのは高い目標を掲げて頑張る子どもたちを増やすこと。夢を実現するために「頑張るって素晴らしいんだ」という気持ちをもつと多くの生徒さんや保護者の方々に持っていたらと願っています。

パズル道場 山下善徳先生に eisu 高校部 伊藤奈緒がきく。

難関大学に合格するためにはテクニカルな「受験対策」以外に何が必要なのだろうか?

eisu 高校部 責任者伊藤奈緒が、パズル道場 開発者山下善徳先生に尋ねた。



伊藤奈緒

三重県立津高より関西学院大学卒業。2000年、自身も中1から高3まで6年間学んだeisuに入社。入社時は高校数学担当で採用されたが、高校英語に転身。生徒たちに責任を持って指導ができるよう必死の努力と工夫を重ね、入社3年で人気・実力ともeisu 高校部No.1講師に。その後本当に生徒たちの学力を上げるには東進の方法論を用いたハイブリッド指導が最も信じ、熱意と努力を注いで現在の完成された指導スタイルを構築。その成功により日本全国の教育関係者の注目を集め、研修・指導にも腕をふるう。現在、eisu 高校部取締役COO(最高執行責任者)。過去にはミス三重グランプリ・ミス松阪などの経験も持つ。自称「美容研究者」。

普通の勉強とは違うので心配される保護者の方もいらっしゃると思いますが、テストなどでは測れない「見えない学力」を、この方法で高めることができるんですね。それにテクニカルな能力、つまり「見えない学力」を積み重ねていけば理想的ですね。

伊藤 「見えない学力」と「見えない学力」の両方が大切なんです。

山下 両方あると、間違いなく難関大学に合格できるでしょうね。小学生のときに、先生が教えてくれた解き方ではなく、自分なりの方法でやろうとか、書くより前に頭の中で解いちゃうとか、そういう「見えない学力」を身に付けられると、中学・高校の勉強や、大学受験で必要な「見えない学力」に結びつくんですよ。

伊藤 そのためには、やはり小学生の頃からセンスを磨ける環境にすることです。すごく大切で、先ほどご紹介した三重大医学部に合格した生徒さんの保護者様とお話する機会があったんですが、その際も、ご両親は「何も特別なことはしていません。ただ、ちゃんと eisu に通ってるんだから何も心配はなかった」と仰ってました(笑)。

山下 すごく信頼ですね。中高になると受験対策などテクニカルな面が重要になりますが、志望大学をワンランクアップさせるためには、小さい頃にセンスを磨くトレーニングができると有利ですね。

伊藤 そうですね。「パズル道場」をはじめ eisu には様々な能力開発のプログラムがありますが、そこから東大・京大合格への道は始まっているんですね。

伊藤 私も(笑)。そして、頑張れば必ず夢は実現できる。目標をはっきり定めて、小中高と「貫いたプログラムで臨めば、夢は現実になる」とこのプロジェクトで証明したいですね。

山下 そういうシームレスなプログラムが提供できるところが、eisu の強みですね。

伊藤 地域に密着した私塾として、取って代われないことにチャレンジする精神と、頑張ったことが褒められる文化を育てていきたいですね。

山下 これからの eisu が楽しみです。

伊藤 はい、楽しみにしています。頑張ります!

結果より、頑張ったことを褒める文化を。

山下 教える側や保護者の方の意識改革も大切ですね。「パズル道場」では成績が上がったことを褒めるのはもちろんですが、例えば難しい問題に丸1日かけて取り組んでいたら、そちらをもっと褒めてあげる。そういう指導を徹底しています。

伊藤 そういう指導は、困難なことに挑戦してみよう、高い志をもつて頑張ろうという姿勢にもつながります。三重県は土地柄のせいか、何か「東大に入りたい」と明言するのが気恥ずかしいような雰囲気を感じることがあります。私たちのプロジェクトが「東大・京大合格」と目標をはっきりさせているのも、そうした雰囲気から変えていきたいからなんです。

山下 高い目標のために頑張るのはとても偉いことなんだ! と、声を大にして言いたいですね。